

授業評価アンケート（学生対象）

全学FD委員会では、2000年度から学生による授業評価アンケートを試行し、2004年度からは、施行時の設問項目を見直したうえ刷新して本実施とした。2014年度にはそれまでの設問項目と内容の見直し作業を行い、2015年度から改定後の新項目により実施している。

アンケートの結果は担当教員にフィードバックするとともに、学内専用サイトに開示しており、授業の方法や内容等の改善への活用が期待される。

学部	時期	実施科目数		
		2019年度	2020年度	2021年度
薬学部	前期	51	-	55
	後期	47	44	45
歯学部	前期	56	-	54
	後期	50	39	46
看護福祉学部	前期	80	-	85
	後期	89	92	83
心理科学部	前期	42	-	45
	後期	39	49	45
リハビリテーション科学部	前期	104	-	100
	後期	93	96	93
医療技術学部	前期	18	-	48
	後期	18	38	44
計	前期	351	-	387
	後期	336	358	356
大学合計		687	358	743
歯科衛生士専門学校	前期	22	-	18
	後期	23	21	20

授業評価アンケートの結果（過去3か年）

評価：1. 強くそうは思わない 2. そうは思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. 強くそう思う						
自己評価	2019年度		2020年度		2021年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 この授業に費やした自己学習時間は、週に1時間未満(1)、1時間以上～3時間未満(2)、3時間以上(3)	1.46	1.44	-	1.50	1.53	1.60
2 自分はこの授業に意欲的に取り組んだ	3.82	3.82	-	3.86	3.91	3.98
3 この授業を受けるために、シラバスを有効に活用した	3.36	3.41	-	3.19	3.36	3.53
4 シラバスで求める授業の履修目的を達成できた	3.61	3.66	-	3.62	3.68	3.81
5 授業により、新しい知識、考え方、技能を修得でき、さらに勉強したくなった	3.83	3.84	-	3.93	3.97	4.06
授業について						
1 授業はシラバスにそって体系的に行われていた	4.00	4.03	-	4.01	4.08	4.18
2 教員の情熱が伝わった	4.16	4.19	-	4.22	4.27	4.34
3 授業での声の聞きやすさ、板書やスライドの文字等の見やすさは適切だった	4.08	4.10	-	4.13	4.19	4.24
4 授業は、理解しやすいよう工夫され、わかりやすく進められた	4.08	4.10	-	4.12	4.19	4.25
5 テキスト、プリント、スライド、IT機器などを適切に利用し、理解に役立った	4.11	4.11	-	4.17	4.23	4.29
6 教員は、学生の質問（授業時間外を含む）・発言等に適切に対応した	4.10	4.11	-	4.16	4.22	4.29
7 授業は適切な速さで行われた	4.08	4.10	-	4.16	4.20	4.28
8 適切に授業外学習（レポート、宿題、自習）などを課した	3.99	3.99	-	4.04	4.15	4.16
9 学んだ分野や関連する分野への関心が広がる授業であった	4.07	4.09	-	4.12	4.17	4.25
10 価値のある授業であった（総合的に良い授業であった）	4.16	4.17	-	4.22	4.27	4.33
※11と12は教員の自由設問のため割愛						
（全学部平均／自由意見を除く）						